

■ 「教育・学習支援」業界として全国の大学で唯一の取得 ■  
**国土強靱化貢献団体認証制度における**  
**第1回レジリエンス認証を取得**  
～ 地域の防災拠点「関西大学レジリエンスキャンパス構想」を推進 ～

このたび関西大学は、国土強靱化の趣旨に賛同し、事業継続に関する取り組みを積極的に行っている事業者が付与される「国土強靱化貢献団体認証」（レジリエンス認証）を取得しました。

本認証は、政府の内閣官房国土強靱化推進室が2016年4月に創設した制度で、企業・学校・病院等各種団体における事業継続の積極的な取り組みを広めることにより、社会全体の強靱化を進めることを目的としています。本学が申請した第1回認証では、全国で44団体が認証を取得しましたが、国公立を含む「教育・学習支援」業界として認証を取得した団体は本学のみでした。

本学では、現在「関西大学レジリエンスキャンパス構想」を推進しています。これは、南海トラフ巨大地震等の大規模災害発生時に、吹田市との連携のもと、大学ならではのあらゆる資源を活用・投入することにより、地域住民を受け入れる防災拠点として機能するための環境整備を行う官民連携の事業です。

本学千里山キャンパスは、1998年に吹田市から災害時の一時避難地指定を受けており、約10万坪（甲子園球場約10個分）の緑豊かな広大な敷地には、グラウンドなどの屋外施設に約2万人、体育館および学舎など屋内施設には数千人が避難することができます。また、地下水を汲み上げて常時820tを貯留しており、たとえ断水しても3日間は十分に飲料水を供給できます。さらに備蓄品倉庫には、食料、毛布や簡易トイレおよび発電機なども備えています。

これらハード面の備えに加え、ソフト面でも地域の方々とともに2010年から継続して実施している「関大防災Day」や社会安全学部における研究・教育、ボランティアセンターにおける活動などを踏まえ、適切な対応ができる体制を整えつつあります。

しかしながら、キャンパス周辺が住宅密集地であり、キャンパス内への進入経路が非常に狭く、防災機能面における改善の必要性など、本学のみでの取り組みでは有事の際の対応に課題があることも事実です。そこで現在、本学、吹田市、大阪府茨木土木事務所、阪急電鉄株式会社の4者で「関西大学周辺まちづくりに関する包括連携協定書」を締結して課題解決に取り組んでいます。

本学は、今後もこれらの取り組みを通じて、「国土強靱化×地域創生」に貢献していきます。

以上

※ご取材を希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

## ■ 関西大学におけるこれまでの危機管理体制および事業継続に関する主な取り組み

1998（平成 10）年	吹田市から災害時の一時避難地指定
2008（平成 20）年 1 月	学校法人関西大学危機管理規程制定
2010（平成 22）年 4 月	業務継続計画（BCP Business Continuity Plan）策定 「社会安全学部」「大学院社会安全研究科」設置
2010（平成 22）年 9 月	防災イベント「関大防災 Day」実施（以降、毎年実施）
2013（平成 25）年 5 月	吹田市との「災害に強いまちづくりにおける連携協定」締結
2014（平成 26）年 7 月	日本赤十字社大阪府支部との「防災教育・啓発パートナー協定書」締結
2016（平成 28）年 3 月	吹田市、大阪府茨木土木事務所および阪急電鉄株式会社との 「関西大学周辺まちづくりに関する包括連携協定書」締結
2016（平成 28）年 6 月	吹田市・関西大学周辺まちづくりシンポジウム 「大震災のその時に地域を守る、大学と守る」を開催
2016（平成 28）年 8 月	国土強靱化貢献団体認証（レジリエンス認証）取得



千里山キャンパス内にある備蓄品倉庫



社会安全学部（高槻ミュージックキャンパス）  
にある安全ミュージアム



「関大防災 Day」での地震避難訓練の様子



「関大防災 Day」で地域住民と学生・職員が  
共同で実施している炊出し訓練の様子